

クラブインターコンチネンタルフロア施設概要

クラブインターコンチネンタルラウンジ(35階)

1. インテリアデザイン:

クラブインターコンチネンタルフロアに相応しい、シックでベーシックな高品質感に「邸宅の居住性(レジデンシャル・コンフォート)」を調和させたデザイン。

6つのゾーニングを施し、利用目的の異なった場所が混在するため、エリアを分ける手法として光をほのかに通すイメージの衝立を採用している。これは簾や行燈などに象徴される「日本の光」の表現の伝統的手法であり、全体を通してくつろぎ感のある居住空間に統一されている。

2. 面積/席数: 約600㎡/約100席

3. 利用時間: 7:00~22:30

4. 施設の特徴:

- ・客室階ではトップフロアに当たる35階に位置し、皇居・国会議事堂・六本木ヒルズ・東京ミッドタウンなど、東京都心の最高の景色と、天気の良い日には富士山も眺められる。
- ・「レセプション」・「ライブラリー」・「リラクゼーション」・「ダイニング」・「バー」・「ミーティング」の6つのゾーンを設け、飲食を無料で提供する「ダイニング」と「バー」ゾーンは特にゆったりと広めにレイアウトしている。(下記※参照)
- ・ラウンジ内にシャワーブースを完備(アーリーアライバルなどに対応)
- ・ラウンジ内は無線LAN接続可能

※ 【6つのゾーンの特徴】

① レセプション エリア

- 着席専用デスクでのチェックイン・チェックアウト
- 専属スタッフによるコンシェルジュサービス(各種手配・サポート)

② ライブラリー エリア

- ビジネスをサポートするPCブース(無線LAN、プリントサービス)
- 内外の雑誌・書籍を揃えたライブラリー
- 65インチ液晶テレビ(ワイヤレスヘッドフォン、BOSEサウンドシステム完備)

③ リラクゼーション エリア

- マッサージチェアと液晶テレビ設置

④ ダイニング エリア

- キッチンを常設したブッフェコーナーでは作り立ての料理を提供
- 朝食サービス、ティーサービス、イブニングカクテルサービス

⑤ バー エリア

- 1日を通して、illyブランドのコーヒーを常備
- 窓に面したハイテーブルを設置
- 日本ならではの技術力で作られた自動の生ビールサーバーを使用

⑥ ミーティング エリア

- テレビ会議(50インチ液晶テレビ)、電話会議対応可能なミーティングルーム(計10席)

5. クラブインターコンチネンタルフロア利用客への主なサービス:

- ・ 35階レセプションでのチェックイン・チェックアウト
- ・ クラブラウンジでの朝食サービス(ブッフェスタイル)
- ・ クラブラウンジでのティーサービス(アフタヌーンティー含む)
- ・ クラブラウンジでのイブニングカクテルサービス
 - ⇒シャンパン、ワイン、ビール、ウイスキーほか
 - ⇒軽食としてバラエティ豊かなコールドカナッペの他、館内各レストランのおすすめの逸品をスモールポーションで提供。ルームサービスのメニューもオーダーできる。(有料)
- ・ 専属スタッフによるコンシェルジュサービス(各種手配・サポート)
- ・ 高速インターネット使用無料
- ・ フィットネスルーム利用無料
- ・ クラブラウンジ内ミーティングルーム利用無料(2時間まで/予約制)
- ・ 14時までレイトチェックアウト無料(通常のチェックアウトは12:00)

クラブインターコンチネンタルフロアの客室

1. 階 数: 28階～35階(8層)

2. 客室数: 198室(内訳: ダブル143室、ツイン12室、スイートルーム43室)

3. インテリアデザイン:

- ・ 内装デザインは日本の伝統色「赤・黒・金・銀・紺」の五色でコーディネート。
- ・ 日本のモノづくりの中で伝統的に伝えられた手法(黒の鏡面仕上げ、漆工芸、版画など)をミニマルモダンの様式でデザイン化して家具やアートワークに採り入れた新しい感覚。
- ・ シンプルですっきりとした印象が特長。
- ・ 内装や家具に使われている木種「栓(せん)」は現代では珍しい種類であるが、日本では古くはタンスなどによく使われた木材であり、どこか懐かしい風合いが感じられる。
- ・ バスルームとベッドルームの界壁をシースルーガラスにし、部屋とバスルームのつながり(それぞれの照明の明るさや空間)を感じさせることにより、一体感のある広がり演出。
- ・ バスルームの拡張を行い、使い勝手を重視して間取りを変更。バスルームには液晶テレビを壁に内蔵している。
- ・ スイートルームの改装により、インペリアルスイートとプレジデンシャルスイートは窓に面した位置にバスルームを配置。

4. 室内装備: ※客室タイプによっては、一部装備が異なります。

- 高速インターネット回線 ●液晶テレビに接続できるメディア・ハブ装備
- 地上波デジタル対応 37インチ液晶フラットテレビ
- 全31チャンネルCATV(英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・韓国語)
- ビデオ・オン・デマンド(120タイトル)
- 充電機能付きi-podスピーカーをベッドサイドに設置
- シモンズ社製ポケットコイルスプリングベッド(体圧分散作用がある快眠追求型ベッド)
- インルームバー ●クローゼット内にアイロン(台付)常備 ●室温コントロールパネル
- 液晶テレビ付バスルーム ●機能性豊かなシャワーヘッド ●シャワートイレ
- 2回線の電話 ●ボイスメール など

5. 客室基準販売価格： ※実際は変動価格販売となります。(サービス料・消費税を含む)

◆ツインまたはダブルルーム(28㎡～32㎡) ¥56,595

◆スイートルーム(6タイプ/52㎡～157㎡)：

・ジュニアスイート	¥86,625	・エグゼクティブスイート	¥92,400
・コーナースイート	¥109,725	・ジャパニーズスイート TATAMI	¥109,725
・インペリアルスイート	¥167,475	・プレジデンシャルスイート	¥277,200

なお、新クラブインターコンチネンタルフロアオープン記念として、クラシックフロア(7～21FL.)の料金で、クラブインターコンチネンタルフロア(28～35FL.)にお泊まりいただける「クラブアップグレードプロモーション」を下記のとおり実施します。

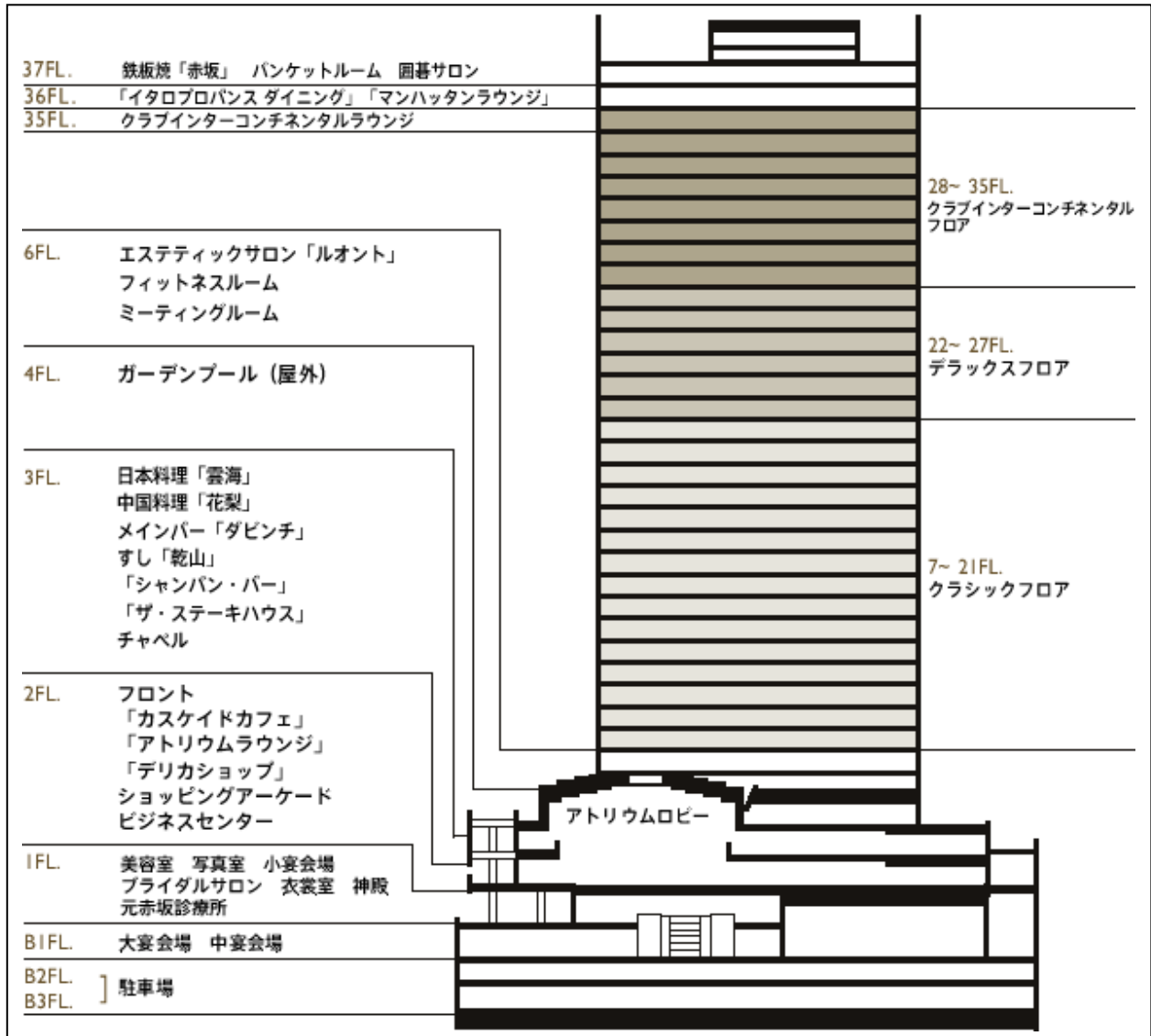
【クラブアップグレードプロモーション料金】

期間： 2009年2月10日(火)～2009年3月31日(火)

◆ダブルまたはツイン 1室料金(1～2名様) ¥26,000～(サービス料・消費税込、宿泊税別)
※料金は日によって変動します。

<参考資料>

【ANA インターコンチネンタルホテル東京の全体階層図】



【ホテル概要】

ANAインターコンチネンタルホテル東京(地上37階/客室数843室)は、赤坂・六本木・霞が関まで各徒歩10分圏内という東京の中心部に立地し、周辺には中央官庁、各国大公使館、内外の一流企業など、国際的な政治経済の中核機能が集結しています。年間平均の外国人宿泊比率は約60%を占め、中でも欧米系のビジネス出張客が中心層になります。

また、ホテルが立つ全体面積約56,000㎡のアークヒルズ内には、国内最大のクラシック専門のコンサートホール「サントリーホール」や、バードウォッチングも楽しめるガーデンや木々の緑に溢れ、落ち着いた大人の憩いの場所として、内外からの多くのお客様に喜ばれています。

このような立地特性や好環境を背景に、2007年4月から、客室数で世界最大のホテルチェーン「インターコンチネンタルホテルズグループ」(世界約100カ国に総ホテル数/4,100以上、部屋数/60万室以上)との共同ブランド化によって、世界各国からレジャー目的で東京を訪れる宿泊客が増えています。

<画像資料>

クラブフロアの
ダブルルーム



部屋と浴室の界壁がシースルーの硝子使いとなっ
ているため、空間の広がりを感じられる。



クラブラウンジ内のライブラリーエリア（イメージ）
モダン感覚であっても、居住性に富んでいる。



ダイニングエリア内の
ブッフェコーナー（イメージ）



窓際にハイテーブルを配したバーエリア（イメージ）
奥がダイニングエリアとなっている。